第2学年2組 生活科 単元学習プラン

児童数 24 名 授業者 佐藤 ゆかり

1 単元名　　ようこそ わたしたちの 「わくわくランド」へ

2 単元の目標

(1) 身近な材料を使っておもちゃをつくったり遊んだりする面白さに気付くとともに、動くおもちゃの仕組みに気付き作って遊べた自分や１年生を楽しませることができた自分、一緒に遊んだ友達のよさに気付くことができる。【(6)(8)(9)】(知識及び技能の基礎)

(2) おもちゃの説明や遊び方を相手にわかりやすく伝えながら、遊びに使う物を自分なりに工夫してつくったりもっと楽しく遊べるように、おもちゃのつくり方や遊び方を工夫したりすることができる。【(6)(8)】(思考力、判断力、表現力等の基礎)

(3) 材料を集めたり試したりして友達と協力して遊んだり、おもちゃを紹介したりしながら、進んで友達や１年生と触れ合い交流しようとしている。

3 子どもが働かせる見方・考え方　　○素材の特徴とかかわって創造的に遊ぶ　　○相手のことを想像しながらかかわる

4 単元構成(単元計画(全 14時間)本時10／14)

大単元	小単元	主な学習活動【□】		子どもの考え(A児を中心に)【○】
楽しさ ひろがれ わたしの おもちゃ	自分だけの おもちゃを つくろう	集団追求過程	□単元を見通し、どんな動くおもちゃをつくりたいか、自分の思いや願いを持つ。(1h)	○1年生の時、2年生がおもちゃランドに招待してくれたよ。 ○家であるものでつくっていたね。私もつくってみたいな。 ○わたしたちも1年生を招待したいな。
		個別追求過程(集団追求過程)	□自分なりに工夫し、試しながらより楽しい動くおもちゃをつくる。	1 自分のつくりたい動くおもちゃ作りに取り組む。 ○ゴムロケットをつくってみよう。材料は何が必要かな。 2 より楽しく遊ぶために、他の動くおもちゃづくりに取り組む。 ○友達がつくっているものもつくってみよう。
			□自分や友達の思いを聞き合い、一緒に遊んだり、遊び方のルールを工夫したりする。(4h)	3 遊びながら、自分の考えや思いを広げる。 ○友達のことこと車がよく走っていたぞ。どうやってつくったのか聞いて、真似してもう一度つくってみよう。 ○できたおもちゃで、もっと楽しく遊びたいな。
		集団追求過程	□学習をまとめ、次の活動への思いにつなげる。(1h)	○友達に声をかけて、ロケットを遠くまで飛ばす競争をして楽しかった。 ○ことこと車の帆の大きさを変えたら速く進んだよ。
	ようこそ わたしたちの 「わくわくランド」へ	集団追求過程	□どんな「わくわくランド」にしたいか、どんな準備をすればよいか話し合う。(1h)	○動くおもちゃを工夫してつくったから、1年生を招待して、一緒に遊びたい。 ○楽しく遊んでもらうために、作り方も教えたいな。 ○招待状や司会、コーナーの紹介もいるね。
		個別追求過程(集団追求過程)	本時の目標　「わくわくランド」に招待した１年生に喜んでもらえるように、1年生の立場になって考えて準備することができる。	
			□コーナーの遊び方や係の仕事に分かれて準備をする。 □試しながら遊びながらさらに必要なことを確認し、工夫を重ねる。 □1 年生を招待して「わくわくランド」で１年生の立場に立って一緒に遊びを楽しむ。(6h 本時は 3／6)	1 コーナーや係に必要なものをつくる。 ○的当てをしたいから、的をつくってみよう。 2 リハーサルや試しに遊んで工夫を考える。 ○点数もわかりやすくして、景品もプレゼントしたら喜ぶね。 ○1年生もつくれるように、説明書と材料も準備しようかな。 3 1年生とかかわりながら一緒に遊ぶ。 ○上手に飛ばせたね。一緒におもちゃをつくってみない。 ○1年生がにこにこ楽しそうに遊んでいたので、うれしかったな。
		集団追求過程	□学習を振り返り、自分や友達の成長を認め合う。(1h)	○友達と相談して係ができたし、協力してコーナーをつくれたよ。